



塾講師を目指す理由

小山 真輝
高知大学3年生

◆個別塾でアルバイトを始める

私は、大学1年生の6月から3年生の2月現在まで個別塾でアルバイトをしています。この経験の中で何を学び感じたのか、そして**KOCHI IYEO**での経験と関連付けて、今後どんな人になりたいかについてお話ししたいと思います。

まず、塾で働こうと思ったのは、自分が好きで得意な英語を活かせると思ったからです。一方、生徒と関わる際に必要なコミュニケーション力については苦手で、最初はうまく関わって授業できるか少し不安もありました。しかし、授業をしていくにつれて、「自分は人と関わり相手のために何かをすることが好きだ」と思うようになってきました。だから、「思い切ってこの仕事に挑戦してよかった」と素直に感じています。



◆工夫して「学習記録帳」を作る

英語の授業をする中で、みんなの英語力を上げて目標達成をサポートすることはもちろんですが、ある時から週1回1時間という短い時間の中で、みんなの成長のためにもっと自分にできることはないかと考えるようになりました。

それから、参考書を何冊か勉強してオリジナル教材を作ったり、プリントで勉強法を紹介したりと、空いている時間で教材づくりに励みました。中でも、自分の目標に向かって、計画的に継続的に勉強していけるよう、去年の秋に工夫を凝らして作った「学習記録帳」が一番みんなの成長につながっていると感じています。

◆種をまいて花が咲くのを待つ

ある高校生は、「学習記録をつけ始めてから、



小山さんの母校 高知県立高知追手前高校

それまで勉強できない日があったりしたが、徐々に勉強しない日がゼロになり、塾に自習に来るなど学びに対する姿勢が各段に高まっている」と報告してくれました。

この学習記録帳にはコメント欄もあります。そこに書いた自分の想いが少しずつ伝わり、生徒の成長を促していると思うと、どこかで耳にしたことがある言葉ですが「人を育てるのは種をまいて花が咲くのを待つ」この大切さを深く実感しています。

でも一方で、その想いが上手く届いておらず、まだ成長につながっていないと感じる高校生がいると、たまに自分の力ではもう無理かなと思うこともあります。

しかし、私が相手の成長を諦めるのが一番だめなことで、生徒の可能性の実をつぶすことになってしまいます。だから、「どうすればいいのか」といつも考えて、向き合い、想いを伝え、いつか花が咲くのを信じて待ち続けたいと思うようにしています。

◆色々なことが喜びに変わる瞬間

2024年度は、ありがたいことに多くの受験生を担当することができ、すでに大学合格の知らせが届いた子もいます。過去問を解くには時間がかかり、大学の勉学との両立が大変な時期もありましたが、みんなががんばっている姿に励まされ、みんなのために力になりたいという想いで取り組んできたのが良かったと思います。

そして、最後の授業で生徒から感謝の言葉を聞くと、「一緒にがんばって授業をしてよかった」と、それまでの色々なことが喜びに変わる瞬間でもあります。

◆これからも塾講師として人を育てたい

このように、塾講師を通じて関わるみんなのために頑張りたいという想いと、人を育てることの喜びとやりがいに気づいた私は、大学卒業後も（県外ではありますが）塾講師として働くという進路を決めました。

そんな私も塾の生徒と同じように、**KOCHI IYEO**の活動に参加する中で関わった多くの社会人、大学生、中高生に成長させていただいています。年齢や性差の壁を越えて青少年の成長のために愛をもって向き合い、考えや思いを、本音を隠さず伝え、自分の生き方を見せてくれる姿に、とても感謝と尊敬の気持ちを感じます。

その姿は私の心にずっと残り続けると思うし、自分もこんな姿を将来出会う子どもたちに見せたいと思っています。

また、**KOCHI IYEO**に関わる人がみんなそうであるように、「学び」「経験」「出会い」を求め成長し続けられる人にもなりたいたいと思います。

この目標を胸に、これからも相手を愛し、信じる気持ちを大切にしながら、将来出会う子どもたちに種をまいて、たくさんの花を咲かせていきたいと思うこの頃です。

KOCHI IYEO HP



2025年2月8日発行
発行者
高知県青年国際交流機構
(KOCHI IYEO)
会長 前田正也

☎ 090-9552-0022

✉ xiwang@yacht.ocn.ne.jp